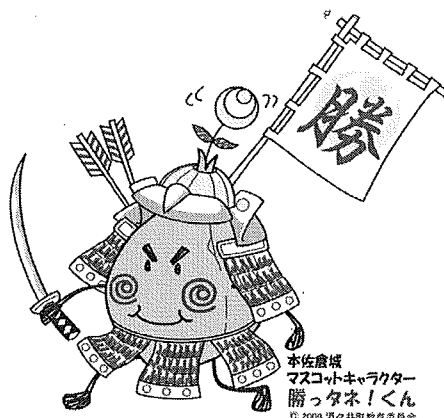


地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和3年度対象)



本佐倉様
マスコットキャラクター
勝っタネ!くん
© 2009 酒々井町教育委員会

令和4年8月10日 実施

酒々井町教育委員会

1 はじめに

この報告書は、

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第26条)の規定に基づき、令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿(令和4年10月1日現在)

職名	氏名
教育長	木村 俊幸
教育長職務代理者	林 洋子
委員	村重 浩二
委員	大塚 益子
委員	川端 孝順

2 教育委員会会議等の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。令和3年度は定例会を12回開催しました。

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（意見交換会）を令和3年度は19回開催しました。（定例教育委員会会議に関する意見交換、教科用図書に関する意見交換など。）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、令和3年度は合計で21件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・・・・・・・・・ 4件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・・ 5件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関する事・・・・・・・・・・・・ 1件
- (5) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7件
- (6) 教科書その他の教材の取り扱い方針に関する事・・・・・・・・・・ 1件
- (7) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（40件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22件

協議事項（1件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種協議会等の委員の選考・・・・・・・・・・・・ 1件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	3	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附属機関等委員の委嘱 ・ 公民館定期休館日の特例に関する規則の一部改正
5月定例会	4	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校体育施設開放に関する規則の一部改正 ・ 6月補正予算（案）
6月定例会	2	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会の点検・評価報告書（案）
7月定例会	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科用図書採択 ・ 町立図書館管理運営規則の一部改正
8月定例会	2	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本スポーツ振興センター災害共済掛金の徴収に関する規則の制定 ・ 9月補正予算（案）
9月定例会		3		
10月定例会		1		
11月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月補正予算（案）
12月定例会		2		
1月定例会	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会被表彰者の選考
2月定例会	2	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月補正予算（案） ・ 新年度当初予算（案）
3月定例会	4	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育施策の策定 ・ 附属機関等委員の委嘱 ・ 補正予算、当初予算の議決結果
合計	21	40	1	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和3年度教育委員会の基本理念、分野毎の重点的な取り組み、主な施策に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、34事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただきました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した34事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「令和3年度教育施策評価一覧表」を添付しております。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・18事業
- B おおむね順調に達成している・・・12事業
- C 達成見込みであるが課題がある・・・3事業

D 達成できなかった・・・・・・・・・・・・・・・・ 1事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性)

拡大・・・・・・・・ 1事業

現状維持・・・・ 29事業

改善・・・・・・・・ 4事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しております。

令和3年度酒々井町教育施策として策定した「酒々井の教育」では、基本理念を「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」として、分野毎の重点的な取り組みや主な施策などを体系的にとりまとめており、これに基づく各課、教育機関における主要事業を対象として、点検・評価を行いました。

今回評価を行った主要事業のほぼすべては、それぞれの事業目的に従い、計画的に実施されており、概ね適正かつ順調に事業執行されたものと判断しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となった事業もあることから、ウィズコロナ社会への対応など今後の課題となっております。また、事業の実施方法など工夫や改善が必要な事業もわずかながらあることから、次年度の事業計画を組み立て、予算の編成を行っていくなかで、さらに検討を深め、併せて町民の皆様のご意見など取り入れることで、社会変化に伴う多様化する教育ニーズに対応していくことが重要であると認識をしております。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページにより公表を行い、町民の皆様からのご意見等いただくことで、今後の事務事業の執行に反映をさせていきたいと考えています。

※ 評価委員会委員

職名	氏名
委員長	久本 邦夫
委員	長谷川 睦
委員	柳橋 幸雄

◇令和3年度事業に係る評価委員会の開催状況

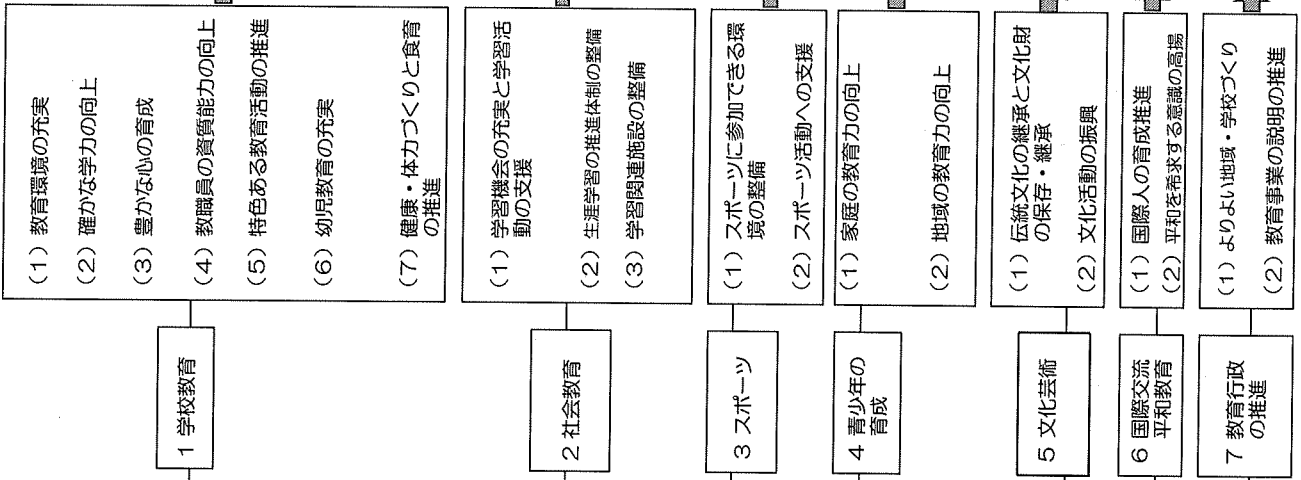
第1回 令和3年10月20日(水)

第2回 令和4年 8月10日(水)

令和3年度教育施策体系図

分野

重点的な取組



人 自然 歴史が 調和した活力あられるまち 酒々井 (将来都市像)

豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり 教育文化 (基本目標)

しなやかに すこやかに いきいきと生きる人づくり (基本理念)

主な事業

しなやかに
すこやかに
いきいきと生きる人づくり

- 酒々井小学校用地公有化の酒々井中学校グラウンド拡張
- 一人一台PC及び統合型校務支援システムの活用○スクールの更新○通学路安全点検の実施
- 調理場内施設、設備 (排気ファン) の更新○ボイラーの更新○高圧受電設備の改修
- 就学支援委員会の開催
- 学習指導等専門支援員、学習活動支援員、介助員、学校保健支援教員等の配置
- いじめに関する実態調査及びネットパトロールの実施○いじめ撲滅キャンペーンの実施
- ケース会議の開催○図書館アシスタントの配置と読書活動の推進○学校通廊専門相談員の配置
- 大学等との相互協力○教育活動への支援○自己評価、学校関係者評価及び第三者評価の実施
- 購種経験年数及び教科領域に関する研修会の開催
- ALT及び小学校英語専科教員の配置
- 保小中連携推進事業の実施 (あいさつ運動等の推進) ○人権、同和教育事業の実施
- 英語検定の受検料助成 (パワーアップE)
- I 酒々井学 (ふるさと学習) J の推進
- 豊かな心を育むCTSプランへの助成
- 幼児教育・保育無償化、私立幼稚園運営費及び教材費補助事業
- 保育園児への英語活動、体育活動及び習字教育
- 酒々井町小学校教育活動力証の交付○部活動指導員の配置○大会参加経費の助成
- 食育指導○食物アレルギー—対応○地元産食材の利用
- 成人式の開催○学習サークルへの支援
- 町民文化祭の開催○人権教育セミナーの開催
- しずい青樹堂及び青樹堂師範塾の開催○こども青樹堂 (3・4年生及び5・6年生) の開催
- コスモス会日本語教室○社会教育指導員の配置○図書館講演会やおはなし会等の開催
- 地域学校協働本部の実施○地域未来塾の開催○土曜日の教育支援体制等の構築
- 中央公民館の管理運営
- アプリミエール酒々井の管理運営○図書館資料の拡充及び図書館サーバーの充実
- 音楽会の開催
- 町民体育館等活動の場となる体育施設整備の検討○学校体育施設の活用促進
- 指導者講習会への参加促進○スポーツ推進委員連絡協議会への助成○ライトスポーツクラブの開催
- 健康体育アドバイザーの配置
- 各種スポーツ教室、大会等の開催○第72回印旛郡市民スポーツ大会
- 体育協会への助成○優秀な選手への助成
- 家庭教育学級の開催○早稲早起朝ごはん運動の推奨○家庭教育指導員の配置
- 家庭教育に関する広報啓発活動
- スマートフォン利用の啓発と家庭と考える「NOSマホデー」
- 子ども会活動○青少年相談員による各種イベントの開催○青少年おもてなしカレッジの開催
- 北海道陸奥町の児童交流 (本年度は中止) ○群馬県長野原町の児童交流
- 地域学校協働本部の実施
- 郷土研究会への助成○ボランティアガイドの育成、活用
- 本在倉庫跡の保存整備
- 文化財管理及び歴史的文書の保存・活用
- 黒古沢遺跡の保存整備
- 文化協会への助成○町民文化祭の開催及び実行委員会への支援
- 中学生国際交流 (派遣・受け入れ) 事業
- 人権教育セミナーの開催
- 各学校の評議委員会の活性化推進と意見聴取
- 学校給食費負担軽減事務○第3子以降学校給食費免除制度
- 積極的な学校訪問及び意見交換会の開催○教育委員会会議の開催及び会議結果等の広報活動
- 教育委員会の点検・評価○教育委員会表彰の実施

- 学校施設、設備の整備と改修
- 通学路の安全確保
- 給食施設、設備の改修等
- 特別支援教育の充実○きめ細かな指導体制の推進
- 学校図書館の充実と読書活動の推進
- いじめ防止対策の推進 ○適切な指導の推進
- 教職員研修への支援 ○教職員の教育研究活動への支援
- 適切な評価の活用
- 人権同和教育の推進 ○環境教育の充実
- 国際理解教育の推進 ○保小中連携の推進
- 郷土を愛する心の涵養
- 幼児教育に係る支援
- 体力、運動能力の向上 ○継続力の向上 ○安全安心な給食の提供 ○食育推進 ○食物アレルギー—対応
- ライフステージに応じた生涯学習プログラムの充実
- 学習サークル活動への支援
- 人権に関する関心の高揚
- 公民館等主催講座の充実と学習成果の活用
- 子ども読書活動の推進
- 学校教育への支援、協働 ○社会教育委員との連携
- 施設、機器の維持管理 ○施設の円滑な運営と利用促進
- 体育施設の整備検討 ○学校体育施設の活用促進
- 指導者の確保、養成 ○参加する機会の実現と情報提供
- スポーツ関係団体、選手への支援
- スポーツ大会の開催
- 保護者等への支援 ○広報活動の充実 ○基本的生活学習習慣への支援
- 子ども社会参加の促進 ○学校教育への支援、協働
- 文化財の保護と活用 ○郷土芸能の保存、伝承の支援
- 文化団体への支援 ○情報提供の充実 ○参加者の拡大
- 英語力の向上とグローバル人材の育成
- 命を大切に育てる教育 ○人権教育
- 学校地域における児童等の把握
- 学校給食費に関する公表計化及び負担軽減
- 積極的な教育委員会活動 ○教育委員会の活性化

- (1) 教育環境の充実
- (2) 確かな学力の向上
- (3) 豊かな心の育成
- (4) 教職員の資質能力の向上
- (5) 特色ある教育活動の推進
- (6) 幼児教育の充実
- (7) 健康・体力づくりと食育の推進
- (1) 学習機会の充実と学習活動の支援
- (2) 生涯学習の推進体制の整備
- (3) 学習関連施設の整備
- (1) スポーツに参加できる環境の整備
- (2) スポーツ活動への支援
- (1) 家庭の教育力の向上
- (2) 地域の教育力の向上
- (1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
- (2) 文化活動の振興
- (1) 国際人の育成推進
- (2) 平和を希求する意識の高揚
- (1) よりよい地域・学校づくり
- (2) 教育事業の説明の推進

教育委員会の点検・評価

令和3年度 教育施策評価表

酒々井町教育委員会

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

	所属名	こども課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の充実	
主な事業	酒々井小学校用地公有地化	
事業の概要	酒々井小学校用地は、地権者のご協力をいただきながらこれまで公有地化を進め、町有地割合87.74%まで進捗したが、依然12.26%の借地が残っているため、将来にわたる健全で安定した学校経営が維持できるよう本年度も用地購入を進める。また、地権者の方々に町の購入意思を示し、機会を捉えて挨拶に伺うなど、話し合いの場を広げられるように努める。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		0	0
	学校用地公有地化の促進に向けて、機会を捉え、地権者の方々に、町の用地購入意思を示しつつ、継続して話し合いの場を広げていけるように努めた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	賃貸借契約を解除して他者に土地を売ることはないか。 ⇒賃貸借契約により、基本的に自動的に契約が継続となっている。 地権者と直接面会できないようだが、どのような対応をしているのか。 ⇒関係者を通じて、意向等確認をしている。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	こども課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	酒々井小学校用地公有地化	
事業の概要	将来にわたる酒々井小学校の安定経営を図るため、また、公費負担を抑制するため、用地の借地部分を購入し、公有地化に取り組む。 町保有面積 35,246.31㎡ 借地面積 4,923㎡（7筆・6名）借地12.26%	

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	こども課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の充実		
主な事業	酒々井中学校グラウンド拡張		
事業の概要	酒々井中学校グラウンド拡張整備の一環として、令和2年度にテニスコートを新設（移設）した。本年度は、野球場建設予定地の用地買収に向けて地権者への説明を続けるほか、旧テニスコート跡地の今後の利用方法について検討を進めるとともに、樹木の伐採を行う。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		113,300	0
	旧テニスコート跡地の活用を図ることで、現状のグラウンドを有効に活用するための方策等を検討、併せて、地権者の意向等も踏まえつつ、グラウンドを拡張した場合の事業効果などについて整理した。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 樹木の伐採等含め事業費の確保と事業全体の費用対効果などが不透明である。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	旧テニスコート付近の整備は、具体的にどのように考えているのか。 ➡サッカーグラウンドとして活用できればと考えている。そのためには、樹木の伐採等が必要なので、予算確保に努めたい。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別	継続
------	----

		所属名	こども課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の整備		
主な事業	酒々井中学校グラウンド拡張		
事業の概要	酒々井中学校のグラウンドは、部活動等で複数の競技が交錯しているため、安全性の確保及び競技力の向上を目的とする拡張整備に取り組む。令和4年度は、必要な用地の購入に向けた交渉を行うとともに、旧テニスコート付近の整備について検討する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1. 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の充実		
主な事業	スクールバスの運行		
事業の概要	小学校への通学が不便な子ども達を援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを、伊篠・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。 なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が全額補助負担する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		15,141	14,559
	学校教育課でバスを所有し、シルバー人材センターで運転手を派遣してもらって事業を進めている。順調な運営ができています。		
課題・問題点	シルバー人材センターの運転手の人員が少ないことから、学校教育課が分担している墨方面のバス運行に影響がないか不安である。 今後、新入生及び転入生の増加によっては、乗車定員を超えることも考えられる。スクールバスとタクシーの併用運行を研究していきたい。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	スクールバスをシルバー人材センターが運行とのことだが、教育委員会で対応することはあるのか。また、シルバーで永続的に対応可能なのか。 ➡現状、そのようなことはないが、シルバー人材センターの人材が高齢化している等の課題はある。
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別	継続
------	----

		所属名	学校教育課
分野	1. 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の整備		
主な事業	スクールバスの運行		
事業の概要	小学校への通学が不便な子ども達を援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを、伊篠・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。 なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が全額補助負担する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の充実		
主な事業	通学路安全点検の実施		
事業の概要	児童生徒の安全を確保するため、夏季休業中に、国土交通省や印旛土木事務所、佐倉警察署等の協力を得て通学路安全点検を実施する（平成24年度より継続実施）。今年度も、各学校より指摘のあった危険箇所について、現地での確認の後、町役場にて協議を行い、学校での指導事項及び早期の改善の方策等について検討する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		0	0
	通学路について危険・要注意箇所と思われる8箇所を選定し点検した。看板設置、道路ペイント、狭窄など、物理的な対策の他、見守り、交通安全指導も含めると、6箇所の安全対策が完了し、5月中には8箇所全ての安全対策が完了する。		
課題・問題点			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	通学路の安全点検について、危険個所の全ての安全対策が完了とのことで迅速な対応に感謝する。引き続き、安全点検をお願いしたい。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の整備		
主な事業	通学路安全点検の実施		
事業の概要	児童生徒の安全を確保するため、夏季休業中に、国土交通省や印旛土木事務所、佐倉警察署等の協力を得て通学路安全点検を実施する（平成24年度より継続実施）。今年度も、各学校より指摘のあった危険箇所について、現地での確認の後、町役場にて協議を行い、学校での指導事項及び早期の改善の方策等について検討する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(2) 確かな学力の向上		
主な事業	学習指導等専門支援員、学習活動支援員、介助員、学校保健支援員等の配置		
事業の概要	学習指導等専門支援員5名、学習活動支援員2名、特別支援学級介助員5名、学校保健支援員1名を各小中学校に配置し、各校の教育活動を支援する。令和3年度よりICT授業支援教員を1名雇用し、各校に週に1度のペースで派遣し、各学校の教職員はもとより、ICT技術支援員との連携を密にし、各学校のICTを活用した授業の充実を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		17,987	18,508
	特別支援学級の学習活動を個別に支援したり、通常学級で、学習につまずきのある児童生徒に個別の支援を行ったりする等、きめ細かな学習支援を行うことができた。 ICT授業支援教員の配置により、情報セキュリティポリシーの周知や情報活用能力育成の指導体系を定めたり、1人1台端末利用の授業実践のサポートに力を発揮した。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	学校におけるICT支援員の配置に関し、必要性が増すと思うが学校からの要望に関してはどうなっているか。 ⇒ICT授業支援員は、各学校を週1回訪問し、支援員が実際に授業を行うなどしている。また教員への様々なサポートを行っており、助かっている。
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(2) 確かな学力の向上		
主な事業	学習指導等専門支援員、学習活動支援員、介助員、学校運営支援教員等の配置		
事業の概要	学習指導等専門支援員7名、学習活動支援員3名、特別支援学級介助員5名、学校運営支援教員1名を各小中学校に配置し、各校の教育活動を支援する。ICT授業支援教員を1名雇用し、各校に週に1度のペースで派遣し、各学校の教職員はもとより、ICT技術支援員との連携を密にし、各学校のICTを活用した授業のさらなる充実を図る。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成		
主な事業	いじめに関する実態調査及びネットパトロールの実施		
事業の概要	いじめ問題を早期に発見し、児童生徒にとって安全安心の学校生活を確保すべく、児童生徒に対し、いじめに関する実態調査を年間5回実施する。また、スマートフォンの普及に伴うSNS等でのトラブルに対応すべく専門業者にネットパトロールを依頼し、児童生徒の健全育成を推進する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		146	146
	各学校に「いじめの基本方針」を周知し、いじめアンケートを年4回実施するなかで、いじめ防止を進めた。また、ネットパトロールも計画どおりに実施することができた。大きないじめ問題は発生していない。 1人1台端末を活用した指導の過程で、情報モラル教育について各学校で指導を行った。児童生徒の育成は進んでいる。		
課題・問題点			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成		
主な事業	いじめに関する実態調査及びネットパトロールの実施		
事業の概要	いじめ問題を早期に発見し、児童生徒にとって安全安心の学校生活を確保すべく、児童生徒に対し、いじめに関する実態調査を年間5回実施する。また、スマートフォンの普及に伴うSNS等でのトラブルに対応すべく専門業者にネットパトロールを依頼し、児童生徒の健全育成を推進する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成		
主な事業	図書館アシスタントの配置と読書活動の推進		
事業の概要	児童生徒の豊かな心の育成に「読書」は欠かせない。様々な人々の思いや考えを学び取れる。学校において、図書館アシスタントを配置し、学校図書館の充実を図ると同時に、読書活動を推進することを通して、生涯、自ら学び続ける児童生徒の育成を進める。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		4,578	4,486
	図書の購入を含め、各学校図書館の運営については、担当教員が学校図書館アシスタントと連携して計画を立てるとともに、授業での図書の必要性及び児童生徒の実態（興味・関心を含む）に即した図書館整備を進めることができた。 また、プリミエール酒々井の司書も出席し、図書館アシスタント会議を定期的で開催した。図書館教育について協議することができた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	学校図書館は充実しており、調べ学習などで、プリミエールと連携し、サービスを充実させて欲しい。 ➡電子書籍のサービスは、昨年からはじめたばかりで書籍数も限られるので今後、貸し出しカードの普及と併せ電子書籍数を増やしていきたい。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成		
主な事業	図書館アシスタントの配置と読書活動の推進		
事業の概要	児童生徒の豊かな心の育成に「読書」は欠かせない。様々な人々の思いや考えを学び取れる。学校において、図書館アシスタントを配置し、学校図書館の充実を図ると同時に、読書活動を推進することを通して、生涯、自ら学び続ける児童生徒の育成を進める。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	学校適応専門相談員の配置	
事業の概要	本町でも小・中学生の不登校生徒が見られる。中学校においては「ほほえみ教室」を設置し、クラスに入れない生徒への対応を行っているが、学校敷地内に足を踏み入れることさえできない生徒には活用できない。そこで、町教育委員会で「ふれあいルーム」を設置し、児童生徒の学習活動を保障する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		1,921	2,001
	相談員を2名配置し、小学生（5年生1人）・中学生（3年生1人、2年生1人）の通級を支援した。3年生の進学先も決定した。 また、週に1回中学校で行われる生徒指導会議に参加し、学校と情報共有を図ることができた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	学校適応専門相談員の配置	
事業の概要	本町でも小・中学生の不登校生徒が見られる。中学校においては「ほほえみ教室」を設置し、クラスに入れない生徒への対応を行っているが、学校敷地内に足を踏み入れることさえできない生徒には活用できない。そこで、町教育委員会で「ふれあいルーム」を設置し、相談員を配置して、児童生徒の学習活動を保障する。	

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	A L T及び小学校英語専科教員の配置
事業の概要	小・中学校における英語教育及び国際理解教育を推進するため、A L Tを各小・中学校に一人ずつ配置し、チームティーチングによる指導により、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。また、小学校には英語専科教員を配置し、英語教育の指導の充実を図る。

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		16,469	16,874
	平成29年度よりA L Tを各小中学校に1名を、さらに平成30年度より各小学校に英語専科教員を配置し、充実した英語学習が実現されている。小学校では、英語専科教員を中心とした研修を計画的に進めるとともに、担任が、授業終了後、直接、英語専科教員から授業に係るアドバイスを受けることも多く、それらの積み重ねによる指導力の向上がうかがえた。		
課題・問題点			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	A L T及び小学校英語専科教員の配置
事業の概要	小・中学校における英語教育及び国際理解教育を推進するため、A L Tを各小・中学校に一人ずつ配置し、チームティーチングによる指導により、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。また、小学校には英語専科教員を配置し、英語教育の指導の充実を図る。

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な事業	保小中連携推進事業の実施（あいさつ運動等の推進）		
事業の概要	小・中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話す、の5点を重点項目とし、9年間の学校生活において子ども達に意識させて活動させるようにする。また、教科学習において、9年間を見通した学習活動が実施できるよう推進協議会を設置するとともに、「全体会」や「分科会」を新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いつつ開催し事業を進める。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		300	300
	新型コロナウイルス感染症の対策をした上で、屋外で実施した小中連携あいさつ運動を実施することができた。また、保小中連携推進協議会及び全体会を開催することができた。 3回目の分科会となる2月は、リモートによる会議を開催するなど、新たな工夫が取り入れられた。 ただし、特別支援学級の小中ふれあい交流会や、保小の連携は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。 感染症は拡大時期が読めず、2年連続で実施ができなかった取組が出てしまった。		
課題・問題点	感染症は拡大時期が読めず、2年連続で実施ができなかった取組が出てしまった。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	コロナで当初の予定通りに取り組めてはいないのかもしれないが、教育委員会で地域と協力した取り組みもあるので、もう少し評価を上げて良い。 ⇒「D」から「C」に変更します。
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な事業	保小中連携推進事業の実施（あいさつ運動等の推進）		
事業の概要	小・中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話す、の5点を重点項目とし、9年間の学校生活において子ども達に意識させて活動させるようにする。また、教科学習において、9年間を見通した学習活動が実施できるよう推進協議会を設置するとともに、「全体会」や「分科会」を新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いつつ開催し事業を進める。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な事業	人権、同和教育事業の実施		
事業の概要	小・中学校3校では、教育活動の基盤として「人権・同和教育」を推進し、心豊かな児童生徒の育成を進めている。しかしながら、「人権教育」「同和教育」はたいへん指導し難く、授業に係る研究が必要不可欠な領域である。そこで、3校が輪番で公開研究会を開催（令和3年度は大室台小学校で実施予定）し、研究協議をとおして研究を深め、授業力の向上を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		623	623
	児童生徒の実態を分析しながら各学校で人権・同和教育の実践を集積し、11月30日には大室台小学校で公開授業研究会を実施した。また、人権作文集及び人権・同和教育推進資料（第33集）を作成・発行をした。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	(5) 特色ある教育活動の推進		
重点的な取組	人権同和教育の推進		
主な事業	人権、同和教育事業の実施		
事業の概要	小・中学校3校では、教育活動の基盤として「人権・同和教育」を推進し、心豊かな児童生徒の育成を進めている。しかしながら、「人権教育」「同和教育」はたいへん指導し難く、授業に係る研究が必要不可欠な領域である。そこで、3校が輪番で公開研究会（令和4年度は酒々井小学校で実施予定）を開催し、研究協議をとおして研究を深め、授業力の向上を図る。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な事業	豊かな心を育むCTSプランへの助成		
事業の概要	町教育委員会では、各学校の特色ある教育活動を推進している。そのため、各学校の校長裁量で活用できる予算を確保し、更なる推進を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		700	700
	それぞれに事業計画書にしたがって、事業展開した。各小中学校に補助金（小学校200千円、中学校300千円）を交付し、各学校の実情に応じた特色ある教育活動を推進することができた。 ホタルの里や米作りなどの地域人材を活用した教育活動、英語検定や漢字検定の受検を推奨する等学力向上のための取組を推進することができた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別	継続
------	----

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な事業	豊かな心を育むCTSプランへの助成		
事業の概要	特色ある教育活動の展開が学校に求められている。そのため、町教委は校長裁量で活用できる予算を確保し、学校を支援していく。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な事業	酒々井学（ふるさと学習）の推進		
事業の概要	これからの国際化に対応できる児童生徒の育成には、郷土を愛する気持ちの育成が重要となる。そこで、酒々井学を推進する職員1名を学校教育課に配置し、酒々井町を様々な観点から検証し、町内の人材の協力を得つつ、将来も地域で活躍する人材の育成を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		1,500	70
	酒々井学を推進する職員が中心になり、教職員向け指導資料「主権者教育指導ガイド」「主権者教育のすすめ」及び児童生徒用学習ガイド「わたしがやるっ!」を作成した。小学校の郷土資料館整備も継続的に実施し、展示資料の解説やイラストパネル等を充実を図りつつ酒々井学の学習拠点として整備を進めた。 また、様々なメディア等を活用し、外部への発信に努めた。		
課題・問題点	指導用、学習者用資料は充実してきた。今後は、これまでの作成してきた資料を活用した授業の充実を推進していく。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進		
主な事業	酒々井学（ふるさと学習）の推進		
事業の概要	これからの国際化に対応できる児童生徒の育成には、郷土を愛する気持ちの育成が重要となる。そこで、酒々井学を推進する教育ファシリテーター1名を学校教育課に配置し、酒々井町を様々な観点から検証し、町内の人材の協力を得つつ、将来も地域で活躍する人材の育成を図る。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	部活動指導員の配置		
事業の概要	中学校教職員の働き方改革を進めるには、部活動の指導時間の縮減が必要である。しかしながら、中学校の部活動は、生徒が楽しみにしている活動であり、保護者も、その充実を望んでいる。そこで、部活動指導員を導入し、中学校教職員の負担軽減を図るとともに、専門的な指導の充実を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		931	452
	2名を雇用し、中学校陸上部及び吹奏楽部の指導を依頼した。顧問の教員と連携しつつ、専門性に基づいたきめ細かな指導がなされた。陸上部は、全国大会出場者はいなかったが、多くの生徒に競技力の向上が見られた。		
課題・問題点	次年度も継続し、さらなる部活動の充実及び教員の働き方改革を推進すべく、指導・支援を進めたい。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	部活動支援員の配置のほか支援ボランティアを募集する予定は、 ➡現状、ボランティアの募集は考えていない。ただし、子どもたちへの接し方など十分理解された方であれば支援ボランティアとして雇うことも検討したい。
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	部活動指導員の配置		
事業の概要	中学校教職員の働き方改革を進めるには、部活動の指導時間の縮減が必要である。しかしながら、中学校の部活動は、生徒が楽しみにしている活動であり、保護者も、その充実を望んでいる。そこで、部活動指導員を導入し、中学校教職員の負担軽減を図るとともに、専門的な指導の充実を図る。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	大会参加経費の助成		
事業の概要	中学校の部活動には、地区大会、県大会等があり、生徒はその大会を目標に毎日の活動を精力的に行っている。しかしながら、各大会には移動が必要であり、毎回、保護者をお願いすることも困難で、どうしても有料バス等の手段を用いる必要がある。その予算の確保が不可欠であり、助成の充実を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		327	923
	中学校から補助金申請に基づき概算払いにより補助金を支出した。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で競技会等が減少したため、支出金額が減少したが、令和3年度は競技会等が行われるようになり、支出が増えた。		
課題・問題点			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校教育課
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	大会参加経費の助成		
事業の概要	中学校の部活動には、地区大会、県大会等があり、生徒はその大会を目標に毎日の活動を精力的に行っている。しかしながら、各大会には移動が必要であり、毎回、保護者をお願いすることも困難で、どうしても有料バス等の手段を用いる必要がある。その予算の確保が不可欠であり、助成の充実を図る。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	6 国際交流 平和教育	
重点的な取組	(1) 国際人の育成推進	
主な事業	中学生国際交流（派遣・受入れ）事業	
事業の概要	酒々井町の未来を担う子供達に世界を見据えた広い視野を育成すべく、酒々井中学校の生徒をドイツ、オーストラリアへ派遣したり、ドイツ生徒を隔年で受入れたりする中で、子供達の英語力向上や国際理解教育を推進する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		3	1
	新型コロナウイルス感染症の影響でドイツ生徒受入れ事業を延期とするとともにドイツ及びオーストラリアへの派遣も中止とした。また、令和4年度の受入れ延期、派遣中止も令和3年12月に決定した。今後は、令和5年度の実施に向け新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつも、実施の準備も併せて行っていきたい。		
課題・問題点	今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視していく必要がある。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	「D」達成できなかったとの自己評価は仕方ない。今できる交流を子どもたちとともに工夫し続けて行って欲しい。このような取り組みをしたが、世界情勢などの影響で、事業ができなかった旨もお知らせしたほうが良い。 ➡昨年度、ピデオレターの交換を計画したが、ロシアのウクライナ侵攻もあり実施できなかったので委員の言われたとおり、子どもたちの意識を高める取り組みを考えていきたい。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	6 国際交流・国際理解	
重点的な取組	(1) 国際人の育成推進	
主な事業	中学生国際交流（派遣・受入れ）事業	
事業の概要	酒々井町の未来を担う子供達に世界を見据えた広い視野を育成すべく、酒々井中学校の生徒をドイツ、オーストラリアへ派遣したり、ドイツ生徒を隔年で受入れたりする中で、子供達の英語力向上や国際理解教育を推進する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和4年度の派遣事業を中止するとともに受入れ事業を延期とした。	

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援		
主な事業	人権教育セミナーの開催		
事業の概要	町民等を対象にした年間6回のセミナーを実施する。 日常生活の中における様々な人権に関する問題に気付き、それらを家庭、職場、学校あるいは地域社会で語り合うことのできるための学習会を開催する。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら開催する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		0	320
	新型コロナウイルス感染症の影響も受けたが、年間5回のセミナーを開催することができた。合計で291名が参加され、人権に関する問題等を地域社会で語り合うための学習機会を提供することができた。次年度以降も、新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、地域のより良い人間関係を築くため、人権啓発活動の推進に努めます。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 新型コロナウイルス感染症が未だ収束していないことから、今後も感染防止対策を十分に行う必要がある。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	人権教育セミナーの開催は、同和問題を含めて実施しているのか。 ➡年間開催6回のうち1回同和教育を実施している。
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	生涯学習課
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援		
主な事業	人権教育セミナーの開催		
事業の概要	町民等を対象に年間6回のセミナーを実施する。 人権問題をテーマとし、日常生活の中における様々な人権に関する問題に気付き、それらを家庭、職場、学校あるいは地域社会で語り合うことのできるための学習会を開催する。令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら開催する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備		
主な事業	土曜日の教育支援体制等の構築		
事業の概要	元教員などの地域住民の協力を得て、子どもたちの豊かな人間関係を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的に、こども青樹堂を実施する。小学校3・4年生のクラスと5・6年生のクラスをそれぞれ土曜日に年間15回ずつ実施する。会場は中央公民館。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		1,056	1,348
	新型コロナウイルス感染症の影響も受けたが、「こども青樹堂」では、小学校3・4年生14名及び5・6年生21名が参加して、6月から年間12回の学習会を実施することができ、国語（漢字の読み書き・意味等）・算数（加減乗除）等の基礎基本習熟のための学習支援を行うことができた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 新型コロナウイルス感染症が未だ収束していないことから、今後も感染防止対策を十分に行う必要がある。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	生涯学習課
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備		
主な事業	土曜日の教育支援体制等の構築		
事業の概要	事業としては継続します。内容は「(1) 学習機会の充実と学習活動の支援」に掲載されている「こども青樹堂」と同様の為、評価対象外としました。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

	担当課 生涯学習課
分野	2 社会教育
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備
主な事業	地域未来塾の開催
事業の概要	元教員などの地域住民の協力を得て、生徒の学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に、学習支援を実施する。教科は英語と数学。 原則として、日曜日に実施する。ただし1学期と2学期の下校時刻が遅い時期の定期テスト前は、平日に実施する日もある。年間32回実施。

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		749	699
	新型コロナウイルスの感染拡大に注意しながら、年間32回の実施ができた。令和3年度当初の受講希望者は28名であったが、10月に受講希望者の再募集を行い、32名になった。参加率は30%だった。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 参加率の向上のため、参加対象者のニーズを把握する必要がある。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	参加率が30%とのことだが、子ども達に意見を聞くなど、運営を工夫することで参加者がもっと増えるのではないかと認識しており、検討しなくてはならないと考えている。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名 生涯学習課
分野	2 社会教育
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備
主な事業	地域未来塾の開催
事業の概要	中学生を対象に、元教員などの地域住民の協力を得て、生徒の学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に、学習支援を実施する。教科は英語と数学。10月にスマホとの上手なつきあい方、ニュースの読み解き方というテーマで特別授業を実施する。実施日は原則として日曜日だが、下校時刻が遅い時期の定期テスト前は平日実施日もある。年間32回実施。

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分野	3 スポーツ		
重点的な取組	(1) スポーツに参加できる環境の整備		
主な事業	学校体育施設の活用促進		
事業の概要	①学校開放体育施設を、競技種目・使用団体・利用施設を考慮し、効率的な貸し出しを行う。 ②酒々井中学校テニスコート有料化について検討し、年内に方向性を出す。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	①学校、関係部署、関係団体、利用団体等と調整し、できるだけ多く利用できるように、学校開放体育施設の効率的な貸し出しに努めた。 利用団体数：44団体 1,106名		
	②酒々井中学校テニスコート有料化について、同じ利用目的の類似施設である総合公園テニスコートと同額で進めていたが、総合公園テニスコート使用料の変更を検討しているため、それをふまえて検討していく。		
（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 酒々井中学校テニスコート有料化について、総合公園テニスコートの使用料の変更の動向をふまえて検討する。			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別	継続
------	----

		所属名	生涯学習課
分野	3 生涯体育・スポーツ		
重点的な取組	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備		
主な事業	学校体育施設の活用促進		
事業の概要	①学校開放体育施設を、競技種目・使用団体・利用施設を考慮し、効率的な貸し出しを行う。 ②酒々井中学校テニスコート有料化について検討する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	3 スポーツ	
重点的な取組	(1) スポーツに参加できる環境の整備	
主な事業	健康体育アドバイザーの配置	
事業の概要	①生涯学習課に経験豊富な人材をアドバイザーとして配置（1名） ②スポーツ団体への支援 ③小中学校部活指導教員への指導 ④各種事業に係る調査研究	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		2,155	2,132
	スポーツ経験豊富な元教員をアドバイザーとして配置し、酒々井アスリートクラブの運営支援、小学校の陸上練習支援、中学校部活動支援及び各種スポーツ関係事業の相談・支援を行った。 ・酒々井アスリートクラブ会員62名（内訳：小・中学生56名、一般6名） ・酒々井町水泳教室（新型コロナウイルスにより令和3年度は中止）		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	生涯学習課
分野	3 生涯体育・スポーツ	
重点的な取組	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備	
主な事業	健康体育アドバイザーの配置	
事業の概要	スポーツ振興班の各事業の比率をふまえ、評価対象事業の変更を行うこととし、令和4年度は評価対象から外しました。	

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分野	4 青少年の育成		
重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上		
主な事業	地域学校協働本部の実施		
事業の概要	各学校にコーディネーターを置き、地域住民等の参画により、学校を核とした地域づくり、学校支援を実施する。 主な活動は、登下校の見守り、マラソン試走の監視、ミシンがけ指導、環境整備等がある。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		1,486	1,440
	酒々井小学校においては、貸出図書の修復などを行う図書館ボランティア、下校付き添い、学習環境の整備、総合学習の補助などを実施し、176人のボランティア等の協力があつた。 大室台小学校においては、下校付き添い、ビオトープ整備、町探検の付き添い等の活動に121人のボランティアがあつた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	各学校にコーディネーターは、何名配置されているのか。 ➡生涯学習課にコーディネーター3名を配置し、全体12名で運営している。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別	継続
------	----

		所属名	生涯学習課
分野	4 青少年の育成		
重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上		
主な事業	地域学校協働本部の設置		
事業の概要	学校と地域が連携・協働して地域全体で子どもたちの学びや成長を支える基盤の構築を図る。各学校にコーディネーターを置き、登下校の見守り、マラソン試走の監視、環境整備等を行う。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分野	5 文化芸術		
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承		
主な事業	本佐倉城跡の保存整備		
事業の概要	①指定地内（城山郭等）の危険木・障害木の一部伐採 ②本佐倉城跡案内所内で活用する地形模型・紹介映像の作成 ③講演会・城跡見学会の開催		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		6,955	9,526
	①倉跡郭及び城山郭の民家裏の枯木・危険竹木の伐採を12月下旬から1月上旬に実施し、終了している。		
	②案内所で活用する本佐倉城跡の地形模型や千葉氏・本佐倉城の紹介映像の作成も、1月末に完成し、案内所にて3月中旬から公開を行うと共に紹介映像はweb上での配信を行っている。		
課題・問題点	③新型コロナウイルス感染拡大予防のためR4.2.19に実施予定であった講演会は開催方法を変更し、講演撮影動画をweb配信する方法に変更して実施しました。R4.2.26開催予定であった見学会は中止とした。 城跡の今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細については、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して引き続き検討を行っていく必要がある。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	佐倉市の生涯学習課が、YouTubeで本佐倉城跡のビデオ映像を流しているが、酒々井町ではホームページ等で公開したりしないのか。 ➡本佐倉城跡の映像は、映像データが重く、町のホームページで対応できていないことから、町ホームページが改善され次第、映像を紹介したい。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別	継続
------	----

		所属名	生涯学習課
分野	5 歴史・文化		
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承		
主な事業	本佐倉城跡の保存整備		
事業の概要	①指定地内樹木伐採・剪定（城山郭等） ②城跡見学会の開催（佐倉市との共催事業） ③本佐倉城跡案内所の運営		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分野	5 文化芸術		
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承		
主な事業	墨古沢遺跡の保存整備		
事業の概要	①整備活用委員会の立ち上げ、実施 ②整備基本計画の策定業務委託の実施 ③国指定用地の公有地化 ④ミニ講演会の開催（2回）		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		5,690	23,925
課題・問題点	①有識者・史跡関係者で組織する史跡墨古沢遺跡整備活用委員会をR3.6.1に立ち上げ、R3年度は3回（9/15、11/22、2/21）の会議を実施した。 ②史跡墨古沢遺跡整備活用委員会での内容検討を行いながら、原稿作成を進め、2月末に「整備基本計画」の内容を素案としてまとめることができた。 ③史跡用地（民有地）分、2,566.79㎡について国・県補助金を活用して公有地化することができた。 ④史跡の保存・整備・活用をテーマとした2回のミニ講演会をR3.10.23及びR3.12.19に実施し、墨古沢遺跡の周知・普及を図ることができた。		
	整備・活用について、今後も各種計画の策定や整備の範囲・方法など国・県・関連諸団体と協議を行いながら進めていかなければならない。また周知・普及事業など、より多くの人に知ってもらう具体的な取り組みを継続して進める必要がある。		

今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別	継 続
------	-----

		所属名	生涯学習課
分野	5 歴史・文化		
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承		
主な事業	墨古沢遺跡の保存整備		
事業の概要	①『整備基本設計』作成 ②整備活用委員会の継続開催 ③整備活用に向けた史跡隣接地の用地公有地化 ④ミニ講演会の開催（2回）		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		担当課	中央公民館
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援		
主な事業	しずい青樹堂及び青樹堂師範塾の開催		
事業の概要	生きがいを持ちながら郷土愛を育み、地域の中での活動やまちづくり指導者の養成を目指し、講座を開催する。 ①しずい青樹堂（2年制） 2クラス 年間20回講座開催 ②青樹堂師範塾（1年制） 1クラス 年間20回講座開催		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額 5,282	令和3年度決算見込額 6,007
	新型コロナウイルスの感染拡大により、8月、9月に緊急事態宣言が発令され講座の開催が中止となった状況のなか、日程変更をおこない講座回数を減らさず開催することができた。青樹堂師範塾6期生は、「酒々井の魅力、現在そして未来」を題目にした卒業発表をすることができた。青樹堂師範塾 7名 しずい青樹堂8期生 17名 しずい青樹堂9期生 12名		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 令和4年度に酒々井青樹堂運営検討委員会をを設置し、令和5年度以降の講座体制や内容について検討し、より充実した講座の開催に向け、会議を行っている。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	青樹堂・青樹堂師範塾への参加に年齢制限はあるのか。 特に年齢制限はない。 今後の方向性として改善にチェックマークがつけられているがなぜか。 ➡より町民ニーズにあった講座内容としていきたいと考えている。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別	継続
------	----

		所属名	中央公民館
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援		
主な事業	しずい青樹堂及び青樹堂師範塾の開催		
事業の概要	生きがいを持ちながら郷土愛を育み、町の文化や歴史について学ぶ。行政や生活に役立つ講座を開催し、より充実した生活が送れるような情報提供をしていく。仲間づくりを通してボランティア活動やまちづくりに繋げられるようサポートする。青樹堂師範塾については、応募者が少数の為今年度は中止とします。しずい青樹堂は年間22回実施。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		担当課	中央公民館
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備		
主な事業	中央公民館の管理運営		
事業の概要	令和2年度に行った施設整備工事により、太陽光発電や蓄電池設備の設置等が完了したため、災害時に備え施設の維持管理をする。 新型コロナウイルス感染症防止対策について引き続き継続し、貸館業務を行う。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額 255,246	令和3年度決算見込額 5,207
	災害時に対応可能な施設として整備後、継続し維持管理をしている。 新型コロナウイルス感染症防止対策を継続し、利用者が安心して利用できるよう対応をしている。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 引き続き、感染防止対策を継続し貸館業務をおこなう。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	ゲリラ豪雨が多発するなか、公民館は災害時に向け充実した設備になってきているが、災害時の町民の受け入れ等は、どこで担当しているのか。 ➡防災担当は総務課となり、そこと連携し避難所を公民館が運営している。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	中央公民館
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備		
主な事業	中央公民館の運営管理		
事業の概要	災害時に対応できる施設として、施設の維持管理を継続する。 新型コロナウイルス感染症防止対策を継続し、安心して利用できるよう対応を継続する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の充実		
主な事業	調理場内施設、設備（排気ファン・ボイラー）の更新		
事業の概要	排気ファンについて、開所時から使用のため部品等がなくなり修理ができないため、全6機中毎年2機ずつ交換する事業の3年目となる。 2基あるボイラーのうち、平成11年度に更新したボイラーが老朽化により故障したため更新を行う。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		4,997	14,062
課題・問題点	排気ファンについて、3年間をかけて予定どおり更新することができた。また、ボイラーについても、予定どおり更新することができた。いずれの事業においても、計画どおり夏季休業期間中に事業を実施できたため、給食への影響はなく、スムーズに移行できた。 (※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	設備の点検には苦勞すると思うが、設備改修はスムーズに進んでいるのか。 ➡緊急を要する件に関しては、予算措置により対応するようにしている。 設備の改修は、施設の基準を念頭に、工夫し運用している。
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(1) 教育環境の整備		
主な事業	①トイレ手洗い温水化工事②調理備品の更新		
事業の概要	①学校給食衛生管理基準により、手洗い設備は温水に対応したものである旨規定されていることから、温水化工事を実施する。 ②老朽化により破損している作業台を購入する。また、移動用のシンクを新規購入する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	食育指導		
事業の概要	食生活に対する正しい知識の普及を図るため「給食だより」を各学校へ配付する。生活習慣病予防など健康づくりを就学期からの理解を図るため「センターからこんにちは」を児童生徒の保護者に配付するとともに広報や町HPに掲載し、食育について広く周知する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		0	0
	新型コロナウイルスの影響により、給食時間を利用した食育指導は自粛しているが、酒々井小学校においては、学年に応じて食のテーマを設け、食に関する興味・関心を高められるように授業を行った。また、小学校6年生に対しては、献立の作り方の授業を行い、作成した献立に基づき、実際の給食を作った。中学校においては、「給食の残菜を減らそう」というテーマで放送により指導を行った。さらに、家庭教育学級においては、給食ができるまでの説明や地産地消に関する説明を行った。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	SDGsの観点から、日本の子どもはいかに恵まれているかを食育指導に組み込むことが大事、残菜をなくすという取り組みはなされているのか。 ➡SDGsの観点を取り入れ、日本の子どもがいかに恵まれているか、世界的な飢餓の状況など含め、残菜を減らす取り組みとして取り入れていきたい。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康体力づくりと食育の推進		
主な事業	食育指導		
事業の概要	食生活に対する正しい知識の普及を図るため「給食だより」を各学校に配付する。就学期から生活習慣病予防などの健康づくりの理解を定着させるため「センターからこんにちは」を保護者に配付し、町広報にも掲載する。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、栄養教諭による給食時間の食育指導に制限があるが、実施方法の工夫等により食育を推進する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	地元産食材の利用		
事業の概要	町で生産される米や野菜、加工品の購入に係る経費を全額町が負担し、地産地消の推進を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		6,517	7,185
課題・問題点	給食に使用する米は100%地元産米を使用した。また、地元農家の協力によりさつま芋・ネギ・じゃが芋などの野菜を購入し、将来を担う児童生徒が口にできる給食に安全・安心な食材を使用することができた。また、このことを食育指導の際などに指導・伝達することにより、地産地消の意義や地元農家とのつながり等について学習する機会となった。		
	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	地元産食材の利用		
事業の概要	町で生産される米や野菜、加工品の購入に係る経費を全額町が負担し、地産地消の推進を図る。 また、物価高騰に伴う賄材料費の値上げ幅が大きいことに鑑み、保護者の負担増につながらないための支援策を検討する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	学校給食センター
分野	7 教育行政の推進		
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり		
主な事業	学校給食費収納事務		
事業の概要	学校給食費の徴収事務を適切に行うとともに、現年度・過年度分未納給食費の滞納整理をルール化するとともに、裁判所の支払督促を活用し、徴収にあたる。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額 781	令和3年度決算見込額 678
	学校給食の公費化により教職員の事務の負担軽減、保護者の利便性向上及び振込手数料の無料化による負担軽減が図られた。給食費徴収の公平性の観点から、学校給食費を長期滞納している保護者への訪問徴収を実施し収納を促すとともに、児童手当を給食費に充てられる制度の説明をするなど、収納未済の解消に努めた。また、督促に反応のない保護者に対しては簡易裁判所による支払督促制度を利用した。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 現年度分の給食費は収納率が99%後半を推移しているが、過年度分の徴収に苦慮している。現年度分を確実に収納し未済を増やさないようにするとともに過年度分の徴収率をいかに上げていくかが課題となる。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	学校給食センター
分野	7 教育行政の推進		
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり		
主な事業	学校給食費収納事務		
事業の概要	学校給食費の収納事務を適切に行う。また、現年度分・過年度分未納給食費については、規則等に基づき、計画的なスケジュールのもと厳正に収納事務を行う。なお、督促に応じない悪質な滞納者に対しては、繰り返し督促を行い、必要に応じて裁判所の支払督促を活用する。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援		
主な事業	図書館講演会やおはなし会等の開催		
事業の概要	子ども読書活動の推進を図るため、各種事業を開催する。 ①おはなし会 ②わらべうたの会 ③子ども映画会 ④多読表彰式 ⑤図書館講演会		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		12	77
	①おはなし会はR3.11月より毎月開催した。（全5回、延べ人数107人）		
	②わらべうたの会はR3.11月より毎月開催した。（全5回、延べ人数19組38人）		
	③子供映画会 12月26日に第2会議室で開催した。参加者78人		
④コロナ感染症を鑑み式典は中止とし、賞状、記念品は郵送した。			
⑤2月26日ホールにて開催した。参加者68人			
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	多読賞を受賞した方は、どのくらいの本を読んでいるのか。 ➡町内の小学生を対象とし、いちばん読んだ子で130冊程度である。 音楽ホールの利用促進の状況は。 ➡オータムコンサートなど中止となった。令和4年度になり増加している。
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援		
主な事業	図書館講演会やおはなし会等の開催		
事業の概要	・子ども読書活動の推進を図るため、各種事業を開催する。 (図書館講演会・読書通帳サービス・おはなし会・多読表彰式 なお、わらべうたの会は赤ちゃん向けおはなし会と名称を変更して実施)		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

		所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備		
主な事業	プリミエール酒々井の管理運営		
事業の概要	①経年による修繕やメンテナンス、機器の更新等が多く生じているため、利用に支障を来さぬよう、施設の適正な管理運営に努める。 ②増築スペースについて、イベントの開催や子どもの居場所づくり（学習室）としての利活用を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		27,767	23,200
	修繕費・冷却水管理装置交換（484千円）・ピアノ部品交換（795千円）		
	・木製ベンチ座面等張り替え（137,500円）【コロナ対応事業】		
	工事費・車止め改修工事（242千円）		
	・洗面カウンター改修工事（869千円）【コロナ対応事業】		
	・空調配管周り計器交換：交換機器入手不可のため翌年度へ繰り越し（R4へ繰り越し1,518千円）		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育		
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備		
主な事業	プリミエール酒々井の管理運営		
事業の概要	・経年による修繕やメンテナンス、機器の更新等が多く生じているため、利用者に支障がでないよう施設の適正な管理運営に努める。また、新たな増築スペースについては、イベント等の開催や子どもの居場所づくり（学習室）としての利活用を図る。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

分野	2 社会教育	所属名	プリミエール酒々井
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備		
主な事業	図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実		
事業の概要	①多様化する利用者ニーズに対応した幅広い分野の資料収集を行うとともに、レファレンスサービスをはじめとする図書館サービスの充実を図る。 ②図書館報の発行や図書館ホームページを活用した情報発信を積極的に行う。 ③インターネットを利用したクラウド型電子図書館システムを導入し、非来館型サービスや視覚障害者等へのサービス向上を図る。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		4,498	6,535
	・電子書籍サービスを導入し、9月1日よりサービスの提供を開始した。 電子書籍コンテンツの購入（1,732点） ・図書館報の発行や図書館ホームページを活用し情報発信に努めた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 電子書籍サービスの周知や利用者ニーズに対応した提供資料の充実を図るための資料の選定など		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	電子書籍サービスについて、特定の利用者とのことだが、何名くらいか。 →毎月30名程度です。 電子書籍サービスの存在を多くの人に知ってもらい、関係者とともに工夫をし、電子書籍サービスの充実に努めてもらいたい。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

分野	2 社会教育	所属名	プリミエール酒々井
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備		
主な事業	図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実		
事業の概要	・多様化する利用者のニーズに対応するため、幅広い分野の資料収集を行うとともに、レファレンスサービス、障害者・高齢者サービス（大活字本・朗読CDの充実）、電子書籍サービス等、図書館サービスの充実に努める。また、図書館報の発行やホームページを活用した情報発信を積極的に行う。		

教育施策評価表（令和4年8月実施）

令和3年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備	
主な事業	音楽会の開催	
事業の概要	・音楽会を年2回開催し、町民が音楽にふれる機会を提供する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和2年度決算額	令和3年度決算見込額
		0	94
	①リッチアートコンサート：R3.11.14開催 参加者168人 ②オータムコンサート：町内小中学校の吹奏楽部等の練習成果を披露する。 ③ウィンターコンサート：町内中学校が開催する音楽発表会。 ※②③についてはコロナ感染状況を鑑み中止とし、次年度開催に向け打合せをした。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	音楽ホールの利用促進の状況は、 ➡オータムコンサートなど中止となった。令和4年度になり増加している。
----------------	---

令和4年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備	
主な事業	音楽会の開催	
事業の概要	1. 第22回オータムコンサート 音楽を通じて小中学生や一般視聴者との交流を図り、親交を深めるとともに、演奏技術の向上を目指す。 2. 第2回・第3回しすいリッチアートコンサート 音楽文化を広め、豊かな心を育み、生き甲斐を感じられる町づくりを目指し、音楽会を開催する。	